

# 「山梨学院大学スポーツ科学研究」 第2号の発刊に寄せて

スポーツ科学部 学部長補佐 三本木 温

「山梨学院大学スポーツ科学研究」第2号が当初のスケジュール通りに滞りなく発刊されることとなりました。スポーツ科学部研究紀要委員会の谷口委員長、森副委員長および塚田、太田の各委員の先生方のご尽力に感謝申し上げます。第2号には研究論文が5編、実践研究が3編掲載されています。これらの論文の研究領域や研究対象は多岐に渡るものであり、スポーツ科学部の先生方の旺盛な研究への意欲を反映したものと思われまます。論文執筆に携われた先生方には校務多忙のなか、貴重な時間を割いていただきましたことに心より御礼申し上げます。

2016年4月にスポーツ科学部が設置されたのと同時に、学部内に研究紀要委員会が置かれて、研究紀要の発刊へ向けた検討が始まりました。全学的な研究倫理審査体制の再整備などにやや時間を要しつつも2017年度には「山梨学院大学スポーツ科学研究に関する規程」が制定され、それに基づき同年度に「山梨学院大学スポーツ科学研究」第1号（創刊号）が発刊されました。2018年9月には早くも「山梨学院リポジトリ」に登録され、「山梨学院大学スポーツ科学研究」に掲載された論文は全て電子化されて学外に向けて広く公表されています。

我々スポーツ科学部の使命は、トップスポーツ（競技者のスポーツ）と地域スポーツ（みんなのスポーツ）との「好循環システム」を推進していくことのできる人材の育成です。2020年に迫った東京オリンピック・パラリンピックの開催や、スポーツ庁の掲げるスポーツ人口の拡大およびスポーツによる経済の活性化などの実現に向けて、スポーツ科学部から輩出する人材の活躍が大いに期待されます。そのためには教員自身がスポーツを取り巻く最新の動向に関心を持ちながら、研究能力の向上のためにより一層研鑽を積むことは必要不可欠なことであり、その成果を世に問うためにも「山梨学院大学スポーツ科学研究」は重要なツールであります。「山梨学院大学スポーツ科学研究」がこれからも多くの研究や教育実践の成果を公表し続けられるように願ってやみません。

皆様におかれましては、これまでのスポーツ科学部に対するご高配に心より感謝申し上げますとともに、この「山梨学院大学スポーツ科学研究」第2号にお目通しいたき、忌憚のないご批評をいただければ幸いです。今後とも、山梨学院大学スポーツ科学部への温かいご声援を賜りますようお願い申し上げます。

# Contents

---

## 研究論文

### ブラジルのサッカーを事例としたスポーツ組織と行為者の社会的性格との構造的関係

Structural Relationships between Sport Organizations and Social Character of Sport Participants in Case of Football in Brazil

笠野 英弘 1

### 陸上競技女子4×100mリレーにおけるオーバーハンドパスとアンダーハンドパスの比較

#### ：受け走者の加速に着目して

The comparison of Down sweep pass and Up sweep pass in the women's 4×100m relay  
: Focus on the receiving runner's acceleration in baton passing zone

太田 涼・麻場 一徳 11

### 教員志望学生における保健知識の習得状況と授業担当に関与する要因の検討

#### －小学校教員免許志望群と中高保健体育教員免許志望群の比較から－

Awareness of University Students' Knowledge of Health Instruction in the Teacher-Training Course and an Investigation of the Factors Affecting Their Teaching.

- Comparison of Teachers' Certification of Elementary School and Health and Physical Education -

高橋 岳・友定 保博・下村 義夫 19

### 児童とその親の運動嗜好と障がい者スポーツに対する関心度・認知度との関係

Preferred exercise of children & parents and its relationships with interest and recognition of sports for the Disabled

谷口裕美子・志村 美穂 29

### 全日本高校選抜合宿参加バレーボール選手の心理的特性に関する研究

#### －競技経験年数、現在のポジション継続年数とTSMI、SCAT、MPIに着目して－

Study on psychological characteristic of the volleyball player who participated to youth national camp  
- Relations of years of experience, position years of experience and TSMI, SCAT, MPI -

飯塚 駿・遠藤 俊郎・三井 勇・安田 貢 39

## 実践研究

### トップスポーツのチーム・マネジメントにおける事例的研究

#### ～2016年リオデジャネイロ・オリンピック日本代表陸上競技選手団の取り組みから～

A case study on Team Management of Top Sport  
derived from activities of the JAPAN national athletics' team at the Rio de Janeiro Olympics in 2016

麻場 一徳・平野 了 43

### スポーツ科学部1年生における負傷の状況と体力水準との関係

Relationship between Sports Injury and Physical Fitness in First Year Student of The Faculty of Sport Science.

三本木 温・岸 邦彦・東山 昌央・麻場 一徳・片田 貴士・山部 伸敏・飯島 理彰・吉田 浩二・清水 正 49

### スポーツ科学部1年生における負傷の状況

The Basic Statistic analysis of Sports Injuries in Freshman at The Faculty of Sport Science.

岸 邦彦・三本木 温・東山 昌央 55

## 報告

### 日本コーチング学会第29回学会大会 開催報告

荻山 靖 59